

さいたま市教組新聞

編集・発行/
さいたま市
教職員組合
〒330-0843
さいたま市大宮区
吉敷町4-93-5
大宮教育会館2F
TEL 641-6763
FAX 648-3567
2010.7.14(水)
No.171

半日配備に反対の声強まる

学校警備員 配置問題

予算削減で 子どもの安全軽視

昨年度、さいたま市の2010年度予算を策定する際、マイナス7%シー

リングを受け学校予算も削られました。「赤城・館岩少年自然の家へのバス代補助削減」「保健室事務補助業務の予算カット」「学校警備員の1日勤務を半日に」などです。

6500万円を削減して、学校警備員の1日勤務を半日勤務にするという問題は、子どもたちの安全に関わることで、保護者・市民も高い関心を示しました。

そもそも学校警備員の 配置は、10年ほど前の大

阪教育大学附属池田小学校で児童が殺傷されるといふ事件が起きます。

市教委はこの事件を受けて不審者対策として、さいたま市の小学校に06年1月から学校警備員を配置しました。

市教委の「さいたま市学校教育ビジョン」(08年版)という冊子では「これまで成果をあげてきた、特色ある主な施策」として、学校警備員の配置をあげています。市教委は警備員のいない半日をどうするかということについて、各学校

に対応を求めました。

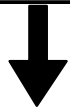
各校からは「PTAのボランティアで対応」「地域の人が願うする」「等々の対応が出されまし

削減反対の請願 41本すべて採択

「PTAの私たちが不審者対応などの安全が確保できるのか」、「ボランティアの人がなかなか見つからない」など多く

市教委の対応

警備員の予算削減

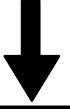


各校に対応求める



反対運動おこる

(41本の請願採択)



半日配置延期(1学期)



モデル校30校で半日実施

の問題が出てきました。

PTA協議会が行った「防犯体制について」のアンケートでは、93・5%の学校が「従来どおりの8時間警備を望む」と回答しています。

今年度の6月議会には中央区PTA連合会をはじめ「学校警備員を削減しないよう求める請願」が41本も出され、審議された結果、請願全てが採択されました。

議会での請願採択を受けて、市教委はその対応を迫られています。

10年度1学期は当面今まで通り学校警備員の1日勤務を続行することになりました。しかし、2学期以降は全く不透明です。

全校での8時間 配置が必要

6月30日、清水市長の定例記者会見で、学校警備員の勤務時間を縮小してボランティアに移行する問題について、10年度は2学期からモデル事業として行い、来年度からの全校実施をめざすことになりました。モデル事業では30校程度の学校に「学校警備員を午前勤務にし、午後は地元の防犯ボランティアで対応する」としています。

に名乗りを上げる学校を調査する。モデル校の校名を情報提供をすることをお断りました。また「ボランティアの人にはゆる不審者対応は責任が持たないのでお願いしない。一人でなく複数の人をお願いしたい。」と回答しました。

市教組としては、警備員配置で学校間で差が出ることはおかしいことであり、93・5%の学校が「従来どおりの8時間警備を望む」としているから、早急に補正予算を組んで、全校8時間配置を実施すべきものと考えています。



教科書は私たちの意見で選ぶのが本筋！

今年度は、小学校教科書採択の年になっていきます。各学校でこの教科書がよいという意見を教育委員会に提出します(学校票)。教科書は市の教科用図書選定審議会において決定され、教

育委員会が承認します。市教組では、授業で教科書を実際に使う教員の意見を最も尊重すべきと考え、学校票を尊重すべきと考えています。現在、学校票を集約し、採択に学校現場の意見が尊重されよう運動していきます。